

しんろだより

No. 5 令和7年6月30日発行
京都府立南山城支援学校
進路指導部

校内実習

先日高等部の生活・就労コースの1・2年生が校内実習を行いました。校内実習では、1つの部屋を作業場と見立てて決められた作業に取り組みます。今回は普段なじみのない教室を作業場とし、朝の登校から下校まで1日中過ごす、初の試みを実施しました。

いつもと違う雰囲気に対し緊張気味の生徒達でしたが、落ち着いて集中しながら取り組むことができました。



校内実習で大切にしているポイント

- ・1日働く体力
- ・報告・連絡・相談
- ・働く意欲
- ・速さ、正確さ、美しさ等の技能

等

これらは高等部になっていきなり身に付くものではありません。特に作業体力や作業意欲は小学部や中学部から身に付けていく必要があると考えます。



初めての活動や慣れない人との活動は誰でも不安や緊張を感じてしまうと思います。ただ、小学部の段階からいろいろな場所や活動をたくさん経験することで、卒業後もそのような場面において、普段通りの力を発揮することができます。

日々の学校生活での新しいことや変化に対し、抵抗を感じやすい児童生徒も少なくないかと思いますが、少しずついいので、そのような状況でも前向きにチャレンジできたらと思います。

校内実習は校外実習に向けての取組でもあります。今回の校内実習をやり切った生徒達は2学期の行われる校外実習でも存分に力を発揮してくれることでしょう。